

土地改良事業計画概要書
(区画整理)

県営幸田地区土地改良事業

第1 当該土地改良事業の目的

本地区は、茨城県稲敷市に位置し、新利根川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。これまでに地区内では、担い手への農地集積が進み経営規模の拡大が進んでいるが、現況の水田区画は10a程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入及び効率的な営農の妨げとなっている。また、用排水路の老朽化が著しく水管理や維持管理に多大な労力を費やしているとともに、漏水などにより、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。

このため、本事業により区画整理による大区画化や道路、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第2 当該土地改良事業の施行に係る地域の所在及び現況

1 地域の所在

茨城県稲敷市幸田

2 現況

(1) 地形

本地区は、茨城県稲敷市に位置し、新利根川流域の低平地に広がる農業地帯であり、標高TP1.0m～TP2.7m程度、地形勾配は1/1000～1/300が34%、1/300～1/100が66%である。

(2) 土壌

本地域の土壌タイプは、細粒グライ土壌（東浦統）25.4ha、グライ土壌9.9haである。

(3) 気象

本地区の気象状況は、龍ヶ崎観測所の資料（平成4年～令和3年）によると下表の通りである。

期間 気象項目	かんがい期 4月～8月	非かんがい期 9月～3月	計	備考
平均気温（℃）	22.8	10.7	14.8	
平均降水量（mm）	500.3	819.4	1,099.8	
平均降水日数（日）	39.6	61.0	100.6	

(4) 水利状況

本地区の用水は、旧国営新利根川土地改良事業により新設された大須賀津揚水機場を水源として中島送水管により送水された水量を排水パイプラインにて分水し、開水路でかんがいされている。

(5) 営農状況

本地区は、立地条件等を活かし、水稻を中心とした農業を展開している。

第3 当該土地改良事業の基本計画

1 一般計画

(1) 土地利用計画

(単位：ha)

土地利用区分 区分	田	畑	小計	その他	計	備考
現 況	32.8	2.5	35.3	4.2	39.5	
計 画	32.8	2.5	35.3	4.2	39.5	

※ その他は、道路、水路等の非農用地を示す。

(2) 作付計画

項目 地目別	作物別	作付面積 (ha)			作付率 (%)	
		現況	計画	増減	現況	計画
水田 表作	水稻	32.1	32.1	0.0	92.8	92.8
畑 秋冬	ねぎ	0.5	2.5	2.0	1.4	7.2
計		32.6	34.6	2.0	94.2	100.0

※ 作付面積は本地面積である。休耕地は作付面積に含まない。

2 主要工事計画

(1) 整地工

標準区画面積 200 a (200m×100m) とし、工区内の均平整地を行う。

整地工 A=35.3ha (水田32.8ha、畑2.5ha)

(2) 用水路工

パイプライン 管水路 L=4,652m

(3) 排水路工

小排水路1号 コンクリート L=476m

小排水路2号 コンクリート L=454m

小排水路3号 コンクリート L=350m

小排水路4号 管水路 L=222m

小排水路5号 コンクリート L=255m

小排水路6号 コンクリート L=258m

支線排水路1号 コンクリート L=427m

流末排水路 コンクリート L=158m

承水路1型・2型 コンクリート L=757m

承水路3型 コンクリート L=194m

(4) 道路工

支線道路A-1 5.0(4.0)m×1,012m 砂利舗装

支線道路A-2 6.0(5.0)m×600m As舗装

支線道路B 5.0(4.0)m×1,902m 砂利舗装

(5) 暗渠排水工

暗渠排水 32.8ha

3 環境との調和への配慮

工事にあたっては、「低騒音」「低振動」「排気ガス対策型」等の環境に配慮した建設機械の使用に努め、生物の生息及び、生息環境への影響を軽減し、希少生物などが発見された際には、工事の影響がない場所へ移動させる等の手段を講じる。

第4 換地計画の要領

1 換地計画樹立の必要性

本地区の換地計画は、経営体の育成の趣旨を基本として、事業施行地域内の農用地の集団化を図り、農業の生産性の向上、農業構造の改善、農業経営の合理化に資するよう定めるとともに、換地は従前の土地と原則的に照応するよう定める。

2 換地計画樹立の基本方針

(1) 従前地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の土地登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補または土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合には、その申出のあった地積とする。

(2) 農用地集団化の方法

換地区	区分 地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全換地区	集落別集団化 地目別作物別集団化 農用地利用集積促進区域別集団化	地帯別、グループ別団地の設定及び特殊地を考慮し、各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化	概ね1～2団地	移動畦畔

(3) 非農用地換地の方針

該当なし

(4) 清算の方法

換地区	区分 清算方法
全換地区	比例地積清算方式

3 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認にかかる地積

換地区	区分 用途	公用公共用地 (ha)				一般国有地 (ha)	合 計 (ha)
		国有地	県有地	市町村有地	計		
全換地区	道路	-	-	2.9	2.9	-	2.9
	水路	-	-	1.3	1.3	-	1.3

4 換地処分の時期に関する特則

本地区については、換地区の全部について区画変更工事が完了し、工事後の土地について確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きにより、換地処分をすることができるものとする。

第5 費用の概算

工事費	906,000	千円
工事雑費	22,000	千円
事務費	45,000	千円
合計	973,000	千円

第6 事業の効果

区分 効果項目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備考
作物生産効果	32,483	7,047	
営農経費節減効果	32,281	34,908	
維持管理費節減効果	△ 3,355	△ 594	
国産農産物安定供給効果	6,881	-	
	-	-	
計	68,290	41,361	

総便益額（現在価値化）① 1,277,395 千円

総費用（現在価値化）② 1,041,945 千円

総費用総便益比 ①／② 1.22

第7 事業施行を数区に分けるときは、その旨及びその理由

該当なし

第8 他事業との関連

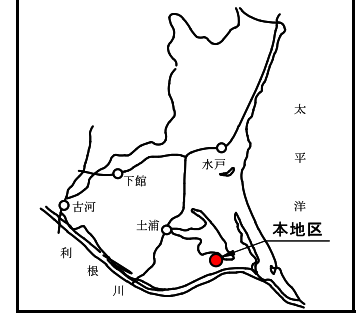
区分	事業名	事業主体	受益面積（ha）	事業内容
関連事業	国営新利根川沿岸 農業水利事業	農林水産省	7,030	用水機場 N=3箇所 用水路 L=9.2km

第9 計画概要図

別添のとおり

計 画 概 要 図

位 置 図



凡 例	
	区 画 整 理
	排 水 路
	排水路(管 路)
	承水路(開水路)
	道路(支線道路A-1型)
	道路(支線道路A-2型)
	道路(支線道路B型)
	用 水 管
	番 号
	現 況 主 要 道 路
	現 況 道 路
	現 況 排 水 路
	既 設 用 水 管
	地 区 界

